

マーケットの動き (2022年10月11日～10月14日)

先週の米国株式市場は、前週末比でNYダウは上昇した一方、S&P500種株価指数は下落しました。週初は複数の米国主要経済指標の発表を控え様子見姿勢が強かったものの、13日に発表された9月の米国CPI（消費者物価指数）が市場予想を上回ったことから、FRB（米国連邦準備制度理事会）の積極的な利上げ継続に対する見方が一段と強まり軟調に推移しました。その後、下落した米国株の割安感から短期的な戻りを見込んだ買いも入り上昇に転じましたが、上値の重い展開となりました。欧州市場はおおむね米国に連動した推移となりました。

投資環境見通し (2022年10月)

外国株式相場は方向感に欠ける展開

企業業績については、米国経済が相対的に底堅いとみられるものの、高インフレやドル高の長期化などによる影響から、業績見通しが今後は引き下げられる可能性は残るとみています。株式相場は、積極的な利上げに伴う景気の先行き不透明感に加えて企業業績の悪化懸念が下押し圧力になるとみられます。一方、株式相場の調整はすでに相当程度進んだとみられることや、決算発表、FOMC（米国連邦公開市場委員会）、中間選挙を控え、材料次第で変動率が高まる可能性はありますが、当面は方向感に欠ける展開を予想しています。

	10月14日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
S&P500種株価指数	3,583.07	▲1.55%	▲9.20%	▲18.43%	▲19.27%
NYダウ	29,634.83	1.15%	▲4.82%	▲13.98%	▲15.12%

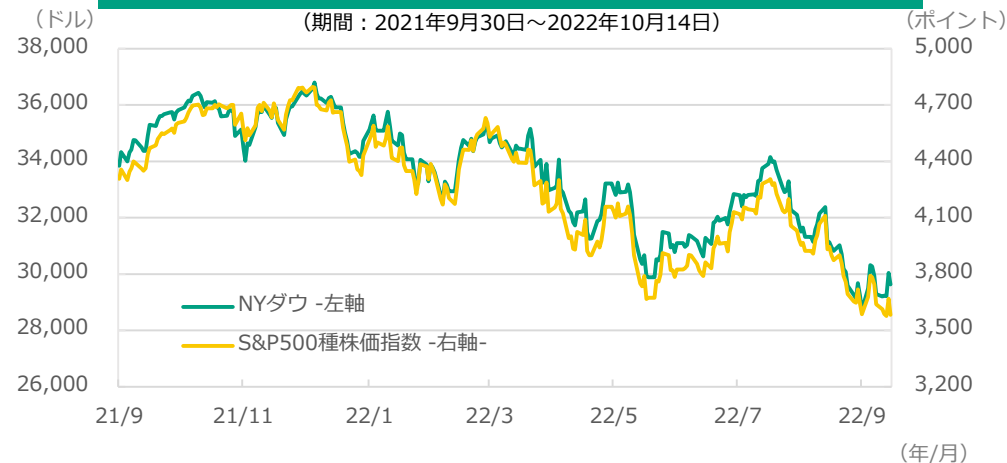
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202210_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

米国株価指数の推移



主要国株価指数の推移



※2021年9月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成